

## 【資料2】

### 「救急医療の今後のあり方に関する検討会 準備会」議事次第

日時 平成19年10月4日(木)

12:30~14:30

場所 経済産業省別館1038号会議室

- 開会
- 会の趣旨についての説明
- 委員からのプレゼンテーション
  - ・ 新藤委員
  - ・ 中澤委員
  - ・ 坂本委員
- フリーディスカッション
- 閉会

#### 議 題

- 救急医療の今後のあり方について

#### 資 料

- 【資料1】 検討会準備会における議論のたたき台
- 【基本資料集】

「救急医療の今後のあり方に関する検討会」準備会 メンバー等

<メンバー>

島崎 修次 (財)日本救急医療財団 理事長／杏林大学救急医学教室教授

山本 保博 日本医科大学 主任教授

坂本 哲也 帝京大学 教授

新藤 正輝 日本赤十字社医療センター 救急部長

中澤 誠 総合南東北病院小児・生涯心臓疾患研究所所長

<オブザーバー>

荒木 裕人 総務省消防庁救急企画室 救急専門官

小林 秀幸 厚生労働省雇用均等・児童家庭局 母子保健課 課長補佐

<事務局>

厚生労働省医政局指導課

佐藤 敏信 指導課長

伊東 芳郎 医療計画推進指導官

柳澤 武 課長補佐

佐々木孝治 課長補佐

田邊 晴山 救急医療専門官

## 「救急医療の今後のあり方に関する検討会・準備会」で取り上げられた課題について

### 1. 「準備会」の議論の中で、指摘された課題

- (1) 補助金制度のより効果的な活用について
  - ・ 赤字補填の仕組みでよいのか。
  - ・ 救命救急センターの評価との関連についてどう考えるべきか。
- (2) 救命救急センターの評価と診療報酬との関係について
  - ・ 実態に応じた評価をすべきでないか。
  - ・ 評価の反映をより明確にすべきでないか。
- (3) 救急医の確保、育成の問題
  - ・ 救命センターで働く医師の不足・過重労働をどう考えていくか。
  - ・ いわゆるERドクターの育成、指導者の育成をどのように進めていくか。
- (4) 臨床研修における救急医療教育について
  - ・ 救急医療を実施していない臨床研修指定病院での教育の問題について
- (5) 救急医療情報システムについて
  - ・ 情報更新を実効的なものにするための仕組みを考えるべきでないか。
- (6) 高度救命救急センターの見直しについて
  - ・ 要件についての再検討が必要でないか。
  - ・ ただし急性中毒、広範囲熱傷、四肢切断についてはどこかで位置づけていく必要があるのではないか。
- (7) 産科救急医療における救命救急センターの関わりについて
  - ・ 連携の強化によって改善できる点があるのではないか。

### 2. 委員による発表で問題提起されたもの

- (1) 外傷センターについて（新藤先生）
  - ・ 防ぎ得た外傷死、防ぎ得た外傷機能障害が多い。
  - ・ 患者と医療者の双方の立場から外傷患者の集約化が必要ではないか。
- (2) 小児救急医療について（中澤先生）
  - ・ 「地域小児科センターの設置を進めてはどうか。
  - ・ 「#8000」の研究班を組織し、有効活用について研究すべきでないか。
  - ・ 「こども救命救急センター」の実現をはかるべきでないか。
- (3) 救命救急医療全般について
  - ・ 需要に応じた医療体制を構築することが重要でないか。
  - ・ 救命救急センターの評価案の提示